

このたびの「東北地方太平洋沖地震」で被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復旧を心よりお祈り申し上げます。

入居者の皆様へ

平成23年3月11日午後2時46分頃発生した「東北地方太平洋沖地震」<マグニチュード9.0、相模原市緑区の震度：5弱>により、本施設においても大きな揺れがありました。特に

SIC-2の4階以上では強い揺れがありました。

このことを受け、3月14日午後3時～6時、SICスタッフと建物の設計者である一級建築士 長崎克央氏が建物共用部及び全室を緊急点検しました。その結果をお知らせいたします。(緊急を要すると判断し、在室されていない部屋についてもSICの責任により警備を解除し、点検いたしました。ご了解ください。)

■ 緊急点検の結果

施設名・階		No.	部位・項目	状況
外部・共通		1	構造体	損傷・変形等は確認されない
		2	外壁	損傷・変形等は確認されない
		3	開口部	損傷・変形等は確認されない
		4	屋根・防水	損傷・変形等は確認されない
		5	外部階段	損傷・変形等は確認されない
		6	外部床	損傷・変形・沈下等は確認されない
		7	内部床	損傷・変形等は確認されない
		8	内部階段	損傷・変形等は確認されない
SIC-1	3	9	廊下 ケーブルラック	壁貫通部詰め物落下
		10	廊下 照明器具	位置ズレ
		11	オフィス 什器	本棚崩壊
	2	12	セミホ 間仕切り壁	柱際の隙間
	1	13	ラホ 間仕切り壁	柱際の隙間
SIC-2	7	14	廊下 ケーブルラック	壁と衝突・破損、変形、部品落下
		15	壁	備品が擦れて、塗装剥離
		16	自販機裏の壁	自販機が衝突し、壁の一部陥没
		17	廊下 ケーブルラック	壁貫通部詰め物落下
	5	18	ドアのガラス窓	破損(避難時に物が当たった)
	共通	19	リフレッシュコーナー カウンター	位置ズレ(上下方向)
		20	壁(特に窓廻り)	ひび割れ
		21	壁: 入隅	隙間が生じる
		22	柱: 出隅	塗装剥離
		23	オフィス 什器・備品	転倒、移動
24		天井空調機	位置ズレ(水平方向)	

■ 緊急点検の結果総括

- SIC-1、SIC-2では建物の特性が異なるので、SIC-2の4階以上(特に7階)では、震度5強程度の揺れがあった可能性があります。
- SIC-1、SIC-2ともにS造(鉄骨造)ですが、RC造(鉄筋コンクリート造・剛構造)に比べて地震時の揺れが大きい柔構造です。それは地震の力を柔軟な構造を用いて吸収するという考え方です。
- 今回の地震でも、建物は一時的には変形したものの主要構造(基礎、柱、梁、床)は復元し、残留ひずみは認められませんでした。

したがって、許容範囲内の変形であったと想定されます。

- 尚、設計上は固定荷重(建物本体の荷重)に積載荷重(人や物など)を加えたモデルに地震力を水平力として加え、その変形を検討します。SICでは、積載荷重を多めに設定していますので、部屋に設備機器があっても一定の安全性が保てるようになっています。
- 壁、天井、ケーブルラックなどの破損箇所は、早い時期に修繕されることが望まれますが、建物の機能上は急を要しません。



■SICの耐震性能(概要)

入居者の方より、施設の耐震性能について質問お受けましたので、以下に簡略化して説明します。(詳細な説明は膨大な紙面を必要としますので、概要とさせていただきます。)

1. SIC-1、SIC-2の共通事項

- 1981年(昭和56年)6月1日 建築基準法施行令改正(新耐震)の規定に基づき、なおかつその安全性に余裕を持たせた設計としています。
- 建物の形状は整形であり、耐震要素の偏りが無く、剛性率×偏心率=形状係数は1.0(最良)である。
- 柱材には、変形に対して粘りのあるスーパーホットコラムを採用している。
- 柱脚は、阪神大震災にて実績の高い、スーパーハイベースを採用している。

2. SIC-1

- 低層でバランスが良いので、構造計算はルート2(層間変形角)を行っている。
- 層間変形角は、XY両方向とも、0.2Gに対して $<1/250$ と余裕がある(規定値は $1/200$ 、緩和値は $1/120$)

3. SIC-2

- SIC-1に比べ建物が高いので、より安全な基準であるルート3(保有水平耐力)にて計算。
- 必要な条件に対して、約1.3倍の安全率を達成している。

【参考】

・地震、震度、ガルなどについて：鹿島建設：

<http://www.kajima.co.jp/tech/seismic/higai/030602.html>

・構造計算：Wiki：

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A7%8B%E9%80%A0%E8%A8%88%E7%AE%97%E6%9B%B8>

・耐震基準：Wiki：

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%80%90%E9%9C%87%E5%9F%BA%E6%BA%96>

■今後のSICの対応

1. 廊下のケーブルラック・照明器具・壁、各部屋の間仕切り壁・天井空調機など修繕が必要な箇所については、順次、修繕を行います。スケジュールについては追って連絡いたします。
2. SIC-2の4階以上の自動販売機は、当面の処置として設置板を滑りにくいタイプに変更しました。

■入居企業へのお願い

1. 本棚、備品類の転倒・移動などが見受けられる一方で、壁に固定されている場合は、ほとんど被害が生じていません。壁に設置されている木製の横板は、自由にお使いいただけますので、そのご利用をおすすめします。
2. また、ラボ、オフィス内の設備機器の固定方法についてはSICまでご相談ください。当施設を設計した長崎氏とともに対応します。

平成23年 3月22日

株式会社さがみはら産業創造センター
一級建築士 長崎克央(有限会社創夢設計)

・内閣府：表層地盤のゆれやすさ全国・各県マップ：

[http://www.bousai.go.jp/oshirase/h17/yureyasusa/\(1kmメッシュ\)](http://www.bousai.go.jp/oshirase/h17/yureyasusa/(1kmメッシュ))

・神奈川大学荏本教授：神奈川県・相模原市揺れ易さマップ：

http://bousai-frontier.net/kanagawa_yure.html
(50mメッシュ)

節電対策

日本経済に大きなダメージを与える大規模停電を回避するため、少しでも電力消費を抑える必要があります。SICでは次のような節電対策を実施します。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

○1階ロビー

暖房の温度設定を 19°C とします。

照明は最小限の点灯とします。

○事務室

暖房の温度設定を 19°C とします。(ウォームビズ実施)

照明は最小限の点灯とします。

○廊下

照明は最小限の点灯とします。

○エレベータ

3階までの入居者の方は、極力階段をご利用ください。

○トイレ

使用後は便座のふたを閉めてください。

ウォシュレットを節電モードに切り替えました。

○自動販売機

表示照明を消灯します。

